

静岡図書館友の会 会報

2019.4

Vol. 21

友の会10周年を迎え

静岡図書館友の会
代表 田中文雄



この文章を書き始める前に、第1号から20号までの会報を読み、今回の会報の付録「会の歩み（年表）」を眺めてみました。様々な情景が懐かしく思い出されます。

2009年1月18日、もくせい会館で開催した第1回総会と村松友視氏の記念講演会に230人の方が参加して下さったことが、私達運営に携わる者たちにとって大きな力となりました。その後、会員の皆様はじめ多くの方々にずっと支えられ、励まされ、10年やってまいりました。心より感謝申し上げます。「〇年間はやろう」などという目標も立てずに、一年一年活動してきました。少しずつでも、進歩したいと思いつつ、確実に年だけはとりました。

「静岡図書館友の会」という名称は地元である静岡市立の図書館はもちろん、県立図書館をはじめ県内の図書館をも視野に入れて活動していこうということで付けました。

「図書館は地方自治体の教育委員会の直営によらなければならない」という考えと「一人でも多くの人達に図書館を利用してもらいたい」の気持ちの2つを胸に「私たちは図書館を学び支え広めます」をスローガンとして活動を進めてきました。

「図書館の直営」につきましては市長・県知

事・県議会議長への様々な「要望書」「提言書」の提出、また市長・県知事選挙の「公開質問状」の実施を行い、関連した講演会も開催しています。また「新たな静岡県立図書館を望む会」も立ち上げました。しかし「一人でも多くの人達に」はフェスティバルをはじめ各種のイベントを静岡市立図書館との共催で実施し、また単独や他団体との共催で数々のセミナーや講演会などを行ってきましたが、まだ実感として図書館利用に結び付いていないと思います。今後、ここに力を入れて行きたいと思います。

10周年記念講演会では椎名誠さんが「本の夢本のちから」という演題で話しをされました。11回の講演会で最大の300人が参加しました。この講演会に「これだけ多くの人達が一つに集ったのは本のちからでしょう」という感想を知人が寄せてくれました。友の会が10年やってこられたのは多くの人々の力だと思ってきましたが、その人達を結び付けているのは「本のちから」なのだ、改めて感じました。私達の真ん中に本があるというイメージも湧いてきました。

みなさん、本を読んでいますか。図書館に友達誘って行っていますか。

今後とも静岡図書館友の会に、ご支援、ご協力よろしくお願いいたします。

2018年度 事業報告

- (1) 第10回総会・講演会 鈴木重子氏 「言葉、声、身体を開く」～身体性のある言葉を伝える～
- (2) 新たな静岡県立図書館を望む会との活動
- ☆新たな県立図書館を考える講演会(静岡県図書館交流会実行委員会と共催)
- 全体 第1回 「新しい図書館ができるまで」～施設計画の視点から～ 建築家 寺田芳郎氏
- 第2回 「地域づくり、人づくりと図書館の役割」元鳥取県教育長 中永廣樹氏
- 第3回 「真のにぎわいを生む北欧の公共図書館」筑波大学教授 吉田右子氏
- ・川勝平太県知事及び渥美泰平県議会議長あて『要望書』提出
- ・要望書について木苗直秀教育長と5人が面談
- ・基本計画案について県社会教育課パブリックコメント募集への参加呼びかけ

学ぶ活動

- (1) 図書館セミナー 『教室はまちがうところだ』の世界 静岡市立中央図書館との共催
- (2) 静岡市都市計画課による出前講座 「コンパクトシティ構想」について学ぶ

広める活動

- (1) 会報の発行 19号(4月)、20号(9月)
- (2) ホームページ随時更新
- (3) 市立図書館の「雑誌スポンサー制度」の呼びかけに協力

支える活動

- (1) 図書館協議会委員他関係者への資料提供や会議・議会を傍聴
- (2) しずとも基金より市立図書館への図書寄贈(496,584円)
- (3) しずとしょフェスタ「図書館と公園」ふたつ楽しむ日曜日 静岡市立中央図書館と共催
- (4) 「図書館友の会全国連合会」等全国組織と県内図書館友の会との連携
- (5) ブックリサイクル、古本市への協力

2019年度 事業計画

全体

- (1) 第11回総会・講演会(椎名誠氏)
- (2) 会員との交流・親睦会
- (3) 新たな静岡県立図書館を望む会の活動

学ぶ活動

- (1) 図書館セミナー1 図書館見学会(県内大学図書館など)
- (2) 図書館セミナー2 市政出前講座(静岡市をもっと知ろう)

支える活動

- (1) 図書館充実のための働きかけ
- (2) 静岡市立図書館への図書の寄贈
- (3) 静岡市立図書館と「しずとしょフェスタ」等の協力
- (4) 会員活動への支援・協力
- (5) 「新たな静岡県立図書館を望む会」等、他の図書館関連団体との協力
- (6) 文化活動への協力
- (7) 市民団体活動への協力・支援・後援
- (8) ブックリサイクル、古本市への協力

広める活動

- (1) 静岡市長選立候補者へ公開質問状を提出、回答を公開
- (2) 会報発行(4月は創立10周年記念号)
- (3) ホームページの更新
- (4) 市立図書館の「雑誌スポンサー制度」の呼びかけに協力

2018 しずとしょフェスタの報告

手回しオルガンの実演

2018 しずとしょフェスタ
図書館と公園 ふたつ楽しむ日曜日

日時 10月21日(日)
10:00～16:00

場所 中央図書館&城北公園
(古本市は図書館前のみ)

内容 ・手回しオルガン・クラウンと遊ぶ
・「ふくろ」の講座・読書・お茶の会
・福祉コーナーにて好評だった和紙製折り紙づくり体験
・図書館ツアー・移動図書館展示 など



青い空、木漏れ日、親子、オルガンの音色、クラウンさん、絵本と手遊び、ぶっくる、雪化粧の富士山、みんな素敵な一日でした。



お茶の講座・ストーリーテリングも好評でした。



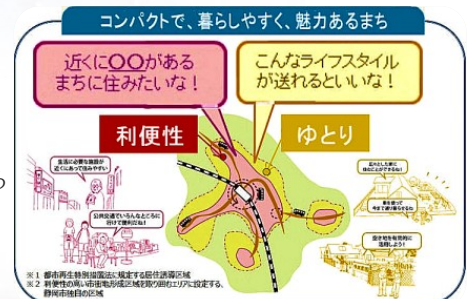
普段見る事の出来ない書庫など案内をしていただきながら見られるのは貴重な体験。参加者は感激!



図書館では障がいのある方のために対面朗読したり録音図書を作成しています。

10/29 に市政出前講座を行いました

市政出前講座「市って?知って!!静岡市」に応募し、「コンパクトシティ構想について学ぶ」セミナーを開きました。高齢化・人口減少・財政難…心配していても始まらない!まずは現状を知ること、市の計画を聞いて少し明るい未来を想像できました。



静岡図書館友の会 2019年度 第11回 総会・講演会

日 時 2019.3.9(土) 13:15～
会 場 もくせい会館 富士ホール
参加者 総会 60人、講演会 300人

総 会

2009年の設立の年から 10年 の月日が経ちました。
皆さまの温かい支援の下で、会としてできることを精一杯行ってきました。
今年の議事は下記の通り、すべて承認されました。

- 第1号議案 2018年度 事業報告
- 第2号議案 2018年度 会計及びしずとも基金決算報告
- 第3号議案 2018年度 会計監査報告
- 第4号議案 2019年度 事業計画
- 第5号議案 2019年度 予算
- 第6号議案 役員改選

☆総会資料は皆さまに送付いたしますが、
ホームページでも見る事ができます。

講 演 会

講師
演題

椎名誠氏
本の夢 本のちから

静岡県立大学短期大学部附属図書館 鈴木 由美

待ちに待った椎名誠さんの講演会当日！お天気は快晴！！富士山もくっきり！！

講師が椎名誠さんと聞いた瞬間、ちゃっかりお迎え係に立候補した私は、静岡駅からご一緒させていただきましたよ。まずは戸田書店本店へ。静岡大学の平野先生率いる学生さんたちの企画「空想キャンパス・フェア」をご覧になり、「著者サイン本」を作成され、椎名さんに会いに集まったたくさんのお学生さんたちと一緒に記念撮影です。私まで混ぜていただき、すみません。居合わせた女性からも「ファンなんです！」と握手を求められる椎名さん。すべてにこやかにご対応されていて、ステキでした。

それから、タクシーで会場へ。当日のもくせい会館は、ほかにも行事が入っていたため、なんと椎名さんの控え室は「娯楽室」、つまりは麻雀室でした。雀卓が4つあり、椎名さんは「16人で一斉にできるね」と気にもされないご様子。それもステキ。



お飲み物はコーヒー、紅茶などの中から、静岡名産である煎茶を選ばれました。これもステキ。開始時間が迫り、ホール裏手から会場内へご案内し、私は観客席へ。すると、びっくりな人の多さ！運営側も予想以上だったのでは？わくわく感が一層高まります。

いよいよ壇上へ上がった椎名さんは、ほんの少し足を引きずっていらっやあって。お気付きの方もあったのではないのでしょうか？実はその日、こむら返りを起こされたとのことで。あれ、本当に痛いですよねえ。始まってみれば、「本の夢本のちから」というテーマはともかく、サナダムシの話、海に沈むビールの話、逆回転寿司あるいは回転人間の話、サバ缶と野菜の話と、あちこちへ広がる椎名さんのお話に、終始笑い転げた私たちでした。なんといても、あの場にいた人たちがみな「椎名誠ファン」で、会場の一体感がものすごかったですね。

あっという間の1時間半が終了し、その後はサイン会へ。こちらでもにこやかに記念写真に応じていらっやいました。あーもう、ほんとステキ・・・静岡図書館友の会さま、幸せな一日をありがとうございました！

「新たな静岡県立図書館を望む会」の報告

「静岡図書館友の会」も立ち上げ団体の1つとして関わった「新たな静岡県立図書館を望む会」は活発に活動してまいりました。今年3月で基本計画がまとまり、これからは具体的な設計に入ります。基本構想、基本計画の有識者会議に委員として参加してきた当会の草谷桂子の任も解かれます。今まで望む会が要望してきたことが反映されるよう願っています。

2018年からの活動報告

- 新たな県立図書館を考える講演会
(新たな県立図書館を望む会・静岡県図書館交流会と共催)

第1回 「新しい図書館ができるまで」 ～施設計画の視点から～	建築家	寺田芳郎氏	2月 4日
第2回 「地域づくり、人づくりと図書館の役割」	元鳥取県教育長	中永廣樹氏	5月20日
第3回 「真のにぎわいを生む北欧の公共図書館」	筑波大学教授	吉田右子氏	9月29日



※あくまでイメージであり、実際の施設配置・内容(規模、デザイン、仕様等)を示すものではありません。
イメージ図：県HP「文化力の拠点」事業計画案公募・参考資料より



- 県教育委員会による 直営体制の維持 及び 資料費増額と専門職員の増員 の二点について要望書を川勝平太県知事と渥美泰平県議会議長に提出(9月11日)
- 木苗直秀教育長と面談 要望書の内容について再度お願い(11月29日)
- 基本計画案についての県主催の**パブコメ**の提出の呼びかけ(12月16日～1月15日)
パブコメ詳細は、静岡県HP(パブリックコメントに関する御意見と対応)にアップされました。75人1団体294件の応募があったということで、これは県主催のパブコメ意見件数の平均19.5件に比し県民の関心の高さがうかがえます。
- 3月末に新館建設については、3回目となる要望書を 県知事と教育長 あてに提出。内容は下記の4点に、「来館者サービス業務」の具体例案を添付資料としました。

- 1 県民が望む新県立図書館を一日も早く開館してください。
- 2 県民に対して直接責任を持つ教育委員会による直営体制を維持してください。
- 3 多様化する県民のニーズに応えるため、基本計画の中で直営の根幹業務に挙げられている「選書、レファレンス、市町図書館支援」に「来館者サービス業務」を加えてください。
- 4 新しい図書館の規模と機能に見合った資料費増額と専門職員の増員を2020年度には実現してください。



よりよい新県立図書館の実現のために、今後も注目し支援していきましょう!

講演 吉田右子氏「真のにぎわいを生む北欧の公立図書館」 ～図書館先進国の最新事例から学ぶ～

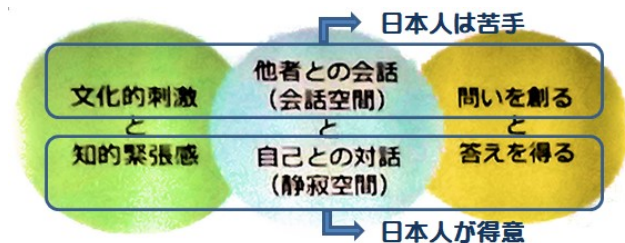
静岡図書館友の会会員 市川 博章

新県立中央図書館基本計画の検討が行われている最中の2018年9月29日(土)、静岡県立中央図書館にて、筑波大学教授 吉田右子氏による講演会「真のにぎわいを生む北欧の公立図書館～図書館先進国の最新事例から学ぶ～」が行われました。私たちの図書館の概念を揺さぶるとも刺激的な講演でした。



図書館は会話するところ

下図に示すように、日本人は下段の「知的緊張感」「自己との対話」「答えを得る」は得意だが、上段の「文化的刺激」「他者との会話」「問いを創る」は苦手である。それに対して、北欧では100年前から対話型の学習が行われてきて、「学ぶ=対話」であり、図書館で対話や会話ができないというのは考えられないことのようにです。



これを反映して、基本的に日本の図書館は「静寂空間」に、北欧の図書館は「会話空間」になっている。ただし、北欧では静寂を求める人のためのエリアも用意されているとのこと。吉田先生にとって北欧での図書館は、「おしゃべりしよ、お弁当たべよ」という場所、お行儀“悪く”本が読めるところだったそうです。日本の図書館は静かすぎて緊張するのだそうです。ネットにも、実は人は「適度な雑音」(70デシベル)があった方が集中力が増すとの実験結果があるという記事がありました。

とにかく、いろんなことが“アリ”です

まず、おしゃべり・飲食OK。会話とコーヒーは図書館には必要なものとされています。もちろんカフェ(チェーン店ではない)もあります。著者による講演などのイベントがロビーで行われたり、広い階段を使って、朗読会・コンサート・ファッションショーなどが行われたりします。通りがかりの人も参加できるし、部屋の中

とは違う開放感があるのだと思います。同じ催しでも、形の違いで大きく印象が変わることがあります。

保育園児が定期的にやってきて、お弁当を食べていきます。うるさいし、椅子を投げたりしますが、小さい時から図書館に親しんでもらいます。IT機器操作は図書館でお互いに教え合って覚えます。3Dプリンターが何台もあって、それを使ったものづくりを学ぶこともできる。他にも編み物カフェとか、小学生のための宿題カフェではボランティアの先生が教えます。司書が読んでもらいたいと思う本を並べたコーナーがあったり、市民と議員や市長が語り合うデモクラシーコーナーなんてものもあります。また、図書館の前庭がスケートボードの練習場になっていたりもします。

これらの柔軟な取り組みは、何かのスローガンから導き出されたというよりは、現場のスタッフが市民のために必要なものは何かを考え、試行錯誤した結果なのだと感じました。



“うまくいかないだろうなと思ったことでもやってみる、ダメなら止める”というのが北欧流だそうです。

文化のプラットフォーム

北欧の公立図書館は、図書館+公民館であると先生は言います。ちなみに、公民館というものがあるのは日本だけだそうで、その点日本は進んでいるともいえます。ただ、日本の公民館は、何かのグループに所属し活動している人が集まるという感じの場所であるように思えるのですが、それに対して、北欧の図書館は、もっと敷居が低く、誰もが気が向いたときに立ち寄って、読書以外にもいろんなことができる場所といえます。種々の専用ソフトが入っているデスクトップ・コンピュータと手軽さが取り柄のスマートフォンの違いのようです。(一般的図書館はコアな部分を担うOffice系ソフト中心のPCでしょうか(?))そして、そのスマートフォンがIT人口の裾野を激的に広げました。だとすると、“真のにぎわいを生む”ために必要なのは、「多機能性」と「敷居の低さ」とは言えないでしょうか。

北欧の公立図書館は、幅広い文化的活動のプラットフォームになっており、正に「文化力の拠点」という感じがしました。東静岡の新施設が、県立図書館に求められる高い専門性との両立を図りつつ、この北欧の事例を吸収し活かして、“真のにぎわい”を生むものになって欲しいと思いました。

図書館から こんにちは

YA世代と図書館

図書館では児童コーナーと一般コーナーの中間として、YAコーナーを設置しております。図書館員がYA世代（ヤングアダルト13～18歳）に読んでほしい本だけでなく、話題の映画化・映像化された本や、リクエストがあった本なども所蔵しております。しかしながら、YA世代は勉強に部活の日々でなかなか本を読む時間がないとよく耳にします。私たちはそんな皆さんの関心を少しでも惹きたく、様々なサービスを考えています。

YAイラストコンテスト

例えば、3年前から開催している「YAコンサート」や依頼のあった高校で行う「ブックトーク」に加え、新たに「YAイラストコンテスト」を開催いたしました。市内の中高生におすすめの本をイラストで表現してもらい、表彰式では特別審査員を務めてくださったイラストレーター・東京モノノケ氏による講演会を開催いたしました。このイベントは第1回目の開催でしたが、39点もの応募があり、集まった作品を見た職員は皆、表現豊かな作品に魅せられつつ、YA世代のおすすめ本に興味津々でした。

静岡市立中央図書館 主事 植松 真由

出張！ 学校図書委員会

他にも現在、中央図書館のYAコーナーでは「出張！学校図書委員会」と題して、図書委員会の皆さんとのコラボ特集を展示しております。図書館近隣の中学校・高等学校の図書委員会の皆さんに依頼し、たくさんのおすすめ本をリストアップしていただきました。本と一緒に手作りのポップでその本の見どころを紹介してくれています。YA世代のリアルな声を取り入れた特集は、とても新鮮で魅力あふれる展示となり大好評です。中央図書館にお立ち寄りの際はぜひこちらもご覧ください。



市内図書館ニュース

図書館電算システムのリニューアルについて

静岡市立中央図書館 主査 池田 明久

図書館電算システムは前回の更新から6年が経過し、今回リニューアルしました。リニューアルにあたり2週間の全館休館となりご迷惑おかけしました。今回のリニューアルに伴い図書館WEBサイトおよび資料の検索画面で、新たに追加となった機能をいくつか紹介させていただきます。

- 図書館WEBサイトは利用しやすくなるよう新しいデザインを意識し、どなたでも快適にホームページを利用していただけるよう配色やページ構成に配慮して作成しました。
- 「資料検索」では本の表紙が表示されるようになりました。また表示した本がどんな本と一緒に検索されていたかを表示させることにより、新た

な本との出会いを提供します。※利用者と結び付いた履歴は保存していません。

- さらに静岡市立図書館で所蔵している本の情報をインターネット上にブックリスト（MY本棚）として保存できるようになりました。本棚を作成することでお気に入りの資料などの情報を保存しておくことができます。

図書館でのお話し会やイベントもわかりやすくお知らせできるように意識して作成しました。図書館を利用していただくことで、図書館が新たな気づきのきっかけになることができたらと考えています。ぜひ引き続き図書館をご利用ください。

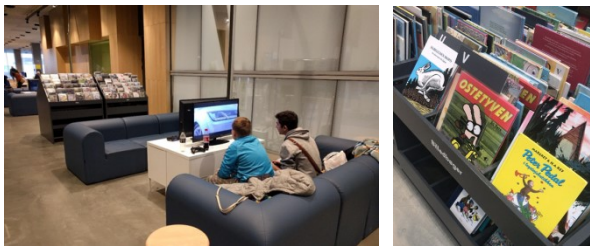
にぎわい歓迎、飲食当たり前？



昨年末に私的な旅行で北欧3カ国（フィンランド、デンマーク、スウェーデン）に行った。完全な個人旅行のため、予め数館ほど目星をつけてはいたが、結局6日間で14館見学した。北欧といえば図書館先進国、質も高く数も多い上に、旅の友Googleマップさんが道中「ここに図書館があるよ!」と教えてくださる。時間の制約もあまりなく、どの国の公共交通機関も利用しやすかったので「せっかくここまで来たのだから…」とつい足を運んでしまった。全てはお伝えできないが、いくつか印象に残ったことを報告したい。

様々な機能を整備

訪問館のうち、あらゆる意味で一番印象に残ったのがオーフスのDOKK1(ドック1)。デンマークのAgency for Culture and Palacesなどが選出する“Public Library of the year Award”の2016年受賞館で、3万平米もありデザインも洗練されている。市民との13年の議論を経て作られたとのことで、大胆に空間を使い、市民のためのあらゆる場所を用意していた。とりわけ日本であまり見かけないメーカースペースは、子ども用とプレティーン用がそれぞれ設置されている。OoDi（ヘルシンキ中央図書館）やエスポー市ゼロ図書館、マルメ市立図書館等にも同様の設備があったが、3Dプリンター等を多くの市民が利用している場面に遭遇した。昨年9月の講演会で筑波大学の吉田右子先生が「日本の図書館に公民館機能を加えたものが北欧でいう図書館に近い」と言われていた通り、情報を得ること以外の様々な機能が整備されていた。



また、子どもへのサービスも充実していた。ある程度の規模の図書館にはベビーカーパーキングがあり、床に駐車場のような仕切線がある館も。休憩室にはレンジやシンク、幼児用の椅子などがあり、プレイルームも充実している。もちろん絵本やゲームソ

～図書館先進国に行ってきました～

静岡県立中央図書館 安田 宏美

フトなどの資料もあり、レコード棚のような表紙を見せるタイプの棚に置かれていた。日本ではあまり見かけないが、利用者が書架の乱れを気にせず手に取れそうだなと感じた。また、コスプレコーナーにはドレスやおもちゃの剣等も用意され、楽器が演奏できるスタジオが設置されているところもあった。



ようこそ！ 読書は当然の権利です

訪問したどの図書館でも感じたのは施設全体の「ようこそ!」という雰囲気。誰でも利用できる公共空間であるということがそこかしこに体现されている。外国語資料も充実しており「LGBTQの棚」がある図書館も。マルメ市立図書館では「読書は当然の権利です」という掲示があり、「この図書館ではあらゆる方法でインスピレーションやヒント、情報を見つけることができます」といったことも書かれ、図書館の姿勢をアピールしていた。

図書館をめぐる環境は日本とは大きく違うため、これらをそのまま取り入れることは難しいが、大いに刺激を受けた。なお、今回紹介した図書館はウェブサイトでも様々なプログラムを掲載しているのでぜひご覧いただきたい。



「読書は当然の権利の1つです」
マルメ市立図書館（スウェーデン）

参考

- ・『オランダ公共図書館の挑戦』（吉田右子／著、新評論 2018年）
- ・「13年の議論で生まれた「驚異の図書館」の裏側（東洋経済オンライン2017/9/26）
(<https://toyokeizai.net/articles/-/189345>)

公開質問状に対する田辺信宏静岡市長からの回答

Q1 「自治体の文化のバロメーター」と言われる図書館ですが、静岡市の文化・教育行政に於いての位置づけについてお聞かせください。

A1 教育分野の最上位計画である「第2期静岡市教育振興基本計画」において、誰もが生涯学び続けられる環境の確保の為に施策として「図書館の充実」を位置づけています。また、皆様もご存知のとおり「知る自由を守る図書館」、「市民の暮らしや仕事、まちづくりに役立つ図書館」、「学びを通してさまざまな個性が育つことを助ける図書館」の三つを静岡市立図書館の使命としており、この使命を果たすべく図書館行政を推進してまいります。

Q2 図書館運営に必要な専門性と継続性を保障するために、直営での運営を継続してもらえますか？

A2 近年では全国各地でさまざまな経営手法による図書館運営が試みられていますが、静岡市においては直営による図書館運営を継続していきます。

Q3 静岡市の図書館が作成した「静岡市立図書館の使命、目的とサービス方針」（別紙）は、私たち市民の誇りとするものです。「図書館の自由の宣言」と共に市内の各館にこの文面が掲示されています。この方針についてご理解とご支持をいただけるでしょうか。ご感想、お考えをお聞かせください。

A3 「静岡市立図書館の使命、目的とサービス方針」および「図書館の自由の宣言」は、静岡市が図書館行政先進都市であるための大切な証として、大切にしていきたいと考えています。静岡市の図書館が、引き続き高い専門性を維持し、利用者満足度の高いサービスを提供できるよう努めてまいります。

静岡図書館友の会10周年記念 会員交流会のご案内

10周年記念 会員交流会 「本の夢 本のちから 本の楽しさ」

～ 午後のティータイム、会員さん同士で気軽に楽しく語り合いませんか ～

日時 6月22日(土) 13:30～16:00

場所 アイセル21 41集会室

申込は総務電話 080-6910-9434 又は eメール sizutomo2008@yahoo.co.jp

申込〆切 5月17日(金) 参加費無料 (チラシも見てね)



静岡図書館友の会会報 No.21 2019.4

静岡図書館友の会 代表 田中 文雄

連絡先:(総務携帯) 080-6910-9434

Eメール:sizutomo2008@yahoo.co.jp

ホームページアドレス:http://shizutomo.sakura.ne.jp/

会員数: 219人 (2018.12月現在)

編集後記

- ・10周年の区切りを迎えたということもあり、今回新参者ではありますが編集を担当させていただきました。凝り性なので一人勝手に趣味に走ってしまいました。独りよがりになっていなければいいのですが。(H.I)
- ・投稿くださった皆様、そして突然編集長に抜擢された(されちゃった?)市川さん、本当にありがとうございました。試行錯誤の数週間、苦勞の甲斐ありましたね。(N.S)